

# 実務的なビジネススキルを学ぶ！「プロジェクト実践型インターンシップ」募集について

## 1. 概要

「プロジェクト実践型インターンシップ」とは受け入れ先となる、千葉県のローカルエリアで地方創生を目指す企業・団体が抱える事業課題に対して受け入れ側と大学・学生が協働して課題解決を図るプロジェクトで、受け入れ側及び大学側にそれぞれメンターを配置し、双方の視点で課題解決にあたり、社会で即戦力として通用する「**実務的なビジネススキル**」を学ぶことができる。

\* 1団体あたり5名程度（最少催行3名）の少人数制（千葉大生には単位認定予定）

\* 事前研修、受け入れ先での活動、期間中の自主学習、事後の振り返りまでを含めて約半年間の長期間で実施（実質的活動日数は10～15日間程度）

\* 対象は千葉県COC+事業に参加・協力する各大学の全学部・全学年

## 2. インターンシップの目的・目標

\* 活動を通して千葉県のローカルエリア企業の抱える課題を理解し、課題解決の方法を学ぶとともに、最終的には地域を知り、企業を知り、働くとはどういうことかを学ぶ。

\* ①地域文化及び地域への理解・愛着、②専門分野の知識・理解力の向上、③明確な職業人意識とコミュニケーション能力の習得、④課題に挑戦する元気・覇気 の習得を目指す。

\* 受入先のメンター、大学側メンター、学生たちが一つのチームとなって課題解決を図ることでチームビルディング方法を学ぶ。

## 3. 受け入れ先企業・団体の紹介とそれぞれの活動場所・課題・テーマについて

### ① **ONE DROP FARM**（研修地：千葉縣市原市高倉 272＝JR 外房線誉田駅よりタクシー10分）

「六次産業化、観光まちづくり、農地再生」 <https://www.facebook.com/1dropfarm/>

**テーマ**：「市原市東国吉地区にある自社所有の耕作未利用地を中心にした農地再生事業」

\* 蜜源となる植物を植栽し、ハチミツによるサステイナブルな農地再生を行う。

\* 多くの人の交流拠点となるよう、近隣サイクルコースを利用した人たちも立ち寄れるサイクルツーリズムの拠点づくりを行う。

\* 家族連れなどを中心に農業体験の他、食・環境にも配慮したワークショップを開催

\* 農地を活用したチームビルディングなどをメニューに取り入れた企業研修なども実施

\* 隣接の長柄町にあるリソルホールディングスの施設等とタイアップした研修の検討



②南房総サイクルツーリズム協会(研修地:南房総市平久里中 224-3=JR 内房線岩井駅よりバス 25分)

「サイクルツーリズムによる地域振興」 <https://www.facebook.com/minamiboso.cycle.tourism/>

テーマ:「サイクルツーリズムによる南房総エリアの地域振興」

- \*南房総市を中心としたサイクルコースの策定のサポート
- \*上記コースを案内するサイクルマップ作成時のデザイン
- \*平群クラブハウスの運営サポート
- \*各種サイクルイベントなどの開催支援



③(株)パクチャー \*以下の二拠点にて活動予定

- SHI TSU RAI (千葉市美浜区高洲 3-14-1 和紅ビル 3F=JR 京葉線稲毛海岸駅 徒歩 1分)

<http://shitsurai.jp/paxi.html>

- シェアキャンパス清海学園 (勝浦市鵜原 142-2=JR 外房線鵜原駅 徒歩 15分)

<http://www.seikai-gakuen.jp/>

テーマ「勝浦のシェアキャンパス清海学園における現状課題の解決と二拠点活動の考察」

「施設の認知」

- \*近隣住民や地元大学生に向けて施設自体あるいは事業内容の認知度をアップさせる。

「集客 宣伝広告」

- \*施設周辺の案内看板設置、チラシ配布などの PR 方法を検討し集客アップにつなげたい。
- \*メイン事業であるコワーキング、BBQ などの認知度を高め利用率を高めたい。

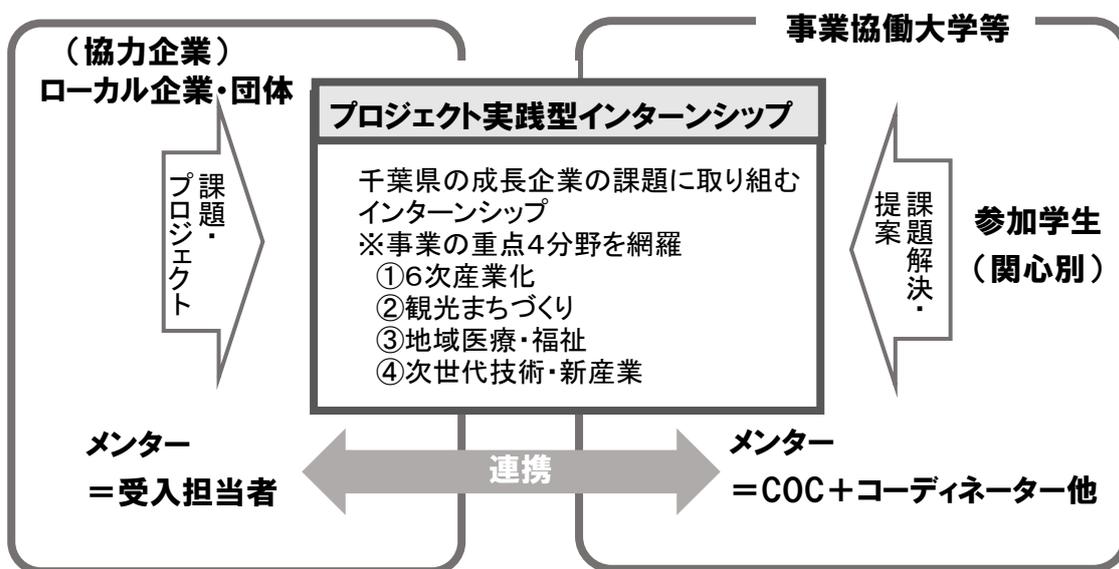
「地元住民との関係」

- \*老若男女問わず、近隣住民のコミュニティ・スペースとして活用したい。
- \*小中学生などの自習室に、また高校・大学生向けには起業/創業セミナーを開催したい。
- \*近隣事業者(民宿・マリンアクティビティ・商店など)との連携。



#### 4. 進め方

受け入れ先と大学側メンターが連携してプロジェクトを組み立て、参加希望学生と企業のマッチングを経て、学生がインターンシップに参加する。さらに、プロジェクトに取り組む中でのアドバイスやメンタリングなど、インターンシップ開始後もメンターが学生の支援を行う。  
なお、受け入れ日程・開催場所等は団体ごとに大学・学生と相談の上で決定する。



#### 5. 登録方法・成績等

##### ①千葉大生

受入れ先のうち希望する団体名、氏名、学籍番号、学部、学科、学年、連絡先（メールアドレス）を明記し、下記あてメールで申し込みください。締め切り 8月17日（金） 17時まで

国際未来教育基幹 特任講師 阿部 厚司 [abeatusi1969@chiba-u.jp](mailto:abeatusi1969@chiba-u.jp)

なお履修にあたり、ポータルでの登録は行わないでください。終了後に教員が成績登録します。成績は取組み状況、受入れ先からの報告、事後報告レポートの内容等から総合的に判断し、可否判定のみとなります。

##### ②その他のCOC+参加校・協力校の学生

\*各参加校ごとに窓口となる部署・メンターに手続き・単位認定等についてはご確認頂き、必ず学校単位でとりまとめて、各参加校ごとに 上記 阿部宛に8月17日（金）までにご連絡ください。

#### 6. ガイダンス

いずれかの日程で参加下さい。やむを得ず参加できない場合は上記阿部宛にお問い合わせください。

日時：8月1日（水）、3日（金） 12:10～12:40 （担当教員から説明）

8月9日（木） 10:00～11:00 & 13:00～14:00（受入れ先担当者からの説明あり）

場所：千葉大学 コミュニティ・イノベーションオフィス

263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 R10 学際研究棟1階

## 7. 旅費の扱い（いずれも例外あり：都度要確認）

### ①千葉大生

原則、千葉市内での活動は自己負担、それ以外は学生負担無しの予定。

### ②その他の COC+参加校・協力校の学生

所定の手続きをしたうえで COC+予算からの負担予定。各参加校・協力校ごとに詳細はご確認ください。

## 8. スケジュール（目安：変更等あり）

### 8月以降 インターンシップ開始

- ・受け入れ団体、大学、学生で日程調整して開始、大学側メンターは随時現場を訪問しメンタリング実施するとともに、双方のメンター同士は連絡を取り合い進捗状況を把握

### 9/29(土) 全 PBL 対象の中間報告会にて中間報告(場所：千葉大学)

- ・各プロジェクトチームからの報告(プロジェクトの進捗確認)
- ・他プロジェクトの参加学生・受入団体との情報交換
- ・最終報告に向けた課題等の確認

### 10/16日(火) 千葉大シンポジウムにおいても中間報告発表予定(場所：千葉大学)

### 10~1月 インターンシップ継続実施

- ・双方のメンターによる状況把握、途中での悩みや不安に関する相談や最終報告会へのアドバイス等

### 2or3月 最終報告会実施予定

- ・各グループごとの発表、次年度以降のプログラム構築に向けての反省・意見交換など

### 注意事項：

- \* 今回のプロジェクトは千葉県のローカルエリアで活躍する企業・団体に受け入れ先となって頂いているため、公共交通機関によるアクセスには多少不便があるかと思いますが、その点は十分理解のうえで履修登録をしてください。
- \* また、従来のインターンシップのスタイルとは異なり、自分たちで考え、提案し、そして解決に導くという部分に重点を置いておりますので、積極的に発言等出来る方の参加をお待ちしております。
- \* 参加にあたっては、災害傷害保険、賠償責任保険の両方に加入していることを条件とします。
- \* プログラムの内容等については受け入れ先の都合等により、変更になる場合もありますのであらかじめご留意ください。